

# フィンドレー大学留学報告書

## 鈴木ひばり

2月も終わってしまいましたね、  
今年は何年だったのかで例年よりも1日長い2月となりましたが、それでも短いと感じてしまうことに違いはありませんでした。この2月はたくさんのイベントがありました。一つずつ振り返っていき  
たいと思います。

2月は各々がそわそわしだす、バレンタインデーがありますね。私は日本人の友達と一緒に、チョコを作りました。仲良くしてくれている人達に配ろうと沢山チョコを作りました。受け取ってくれた人達はみんなとても嬉しい様子で、作って良かったと私も嬉しい気持ちになりました。

2月17日には「Black Tie」と呼ばれるダンスパーティーがありました。このようなダンスパーティーに参加するのは初めての経験でしたが、日本から持ってきた一張羅を着て、メイクアップもしっかりして、臨みました。ダンスパーティーは友達もたくさん参加しており、とても楽しい時間を過ごすことができました。曲が変わっていくのですが、私はあまりダンスが分からずにいると、隣にいた友達が教えてくれて一緒にとても楽しく踊れました。このダンスパーティーで、新しく友達も作ることができ、誰にでも優しく、とてもフレンドリーなアメリカの人達の気質を感じることができたパーティーでとてもいい経験でした。



そして、2月は去年からずっと楽しみにしていたイベントである、コーラスのヨーロッパツアーがありました。このツアーはチェコリパブリック、スロバキア、オーストリアを回るツアーで、チェコとオーストリアで計3回コンサートをしました。チェコの学生達と一緒にコラボできる楽曲もあり、本当に素晴らしいコンサートを作ることができました。

このコンサートは楽譜は形式状持っていますが、歌う時には見ないというスタイルだったので、暗譜が大変でした。英語の楽曲やスペイン語の楽曲があり、似てるようで少しだけ歌詞が違うような部分もあり、苦戦しながら覚えました。

このツアーでは一緒に観光するグループが決められており、アメリカの学生と一緒に回りました。私は自分の英語力が伸びたという自負があったのですが、私と英語で話している人の私の英語への理解力が伸びたことも相まって、自分の英語力が伸びたと思っているんだなと痛感させられました。当たり前前のことですが、人によって違う単語も言い回しも異なり、初めの方は、英語を聞くことで精一杯でしたが、最後は会話にも参加出来たりして、とてもいい英語の勉強になりました。私のグループのメンバーはとても優しい人ばかりで、私のことを気にかけてくれて、たくさんお話ししてくれて、名前をたくさん呼んでくれて、言語が違うというだけで私は幼稚園児のような立場になるんだなと実感しました。

この旅行で、リスニング力は格段に上がりましたが、スピーキングはまだ問題を抱えています。アメリカの方少人数と私はだったら揚々と話せるのに、私対アメリカの方7人とかになると話すことを少し躊躇してしまうこともありました。

あと留学生活ももう2ヶ月しかありませんね、後悔のないように最後まで生き抜きます！

